



月目標：暑さに負けない食事をしよう。

Table with columns for Date, Main Dish, Milk, Side Dish, Red Foods, Green Foods, Yellow Foods, and Energy/Calories. Rows include meals like Gohan, Cuppan, and various soups/salads.

※ごはんは大麦入りです。

※食材の関係で献立を変更する場合があります。

食育だより 7月

こんげつ もくひょう
～今月の目標～
あつ ま
暑さに負けない
しょくじ
食事をしよう

夏の食生活

あつ 暑いからと言って冷たいジュースやアイスクリームばかり食べることはありませんか？暑くてもしっかり食事をとらないと栄養がカタよってしまい体調がくずれ、疲れて動けなくなってしまいます。これが「夏バテ」です。

夏バテを防ぐために

しっかり食べよう
朝ごはん



朝食は一日の活動源。ご飯にふりかけだけ、パンとコーヒーだけという内容では十分とは言えません

のどが乾いたら麦茶や牛乳を飲もう



糖分の多い飲み物は余計喉が乾いたり食欲がなくなったりします。

色の濃い野菜を食べよう



不足がちな野菜をしっかりとりましょう。色の濃い野菜は脂に溶けるビタミンを多く含むので炒め物などがいいですね。

卵・肉・魚などのたんぱく質をしっかりとろう



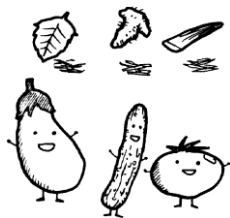
そうめんやざるそばなどを食べる時はたんぱく質も忘れずとりましょう

発育ざかりの子どもたちは、1回1回の食事が「からだづくり」につながっています。

食欲を増すためのポイント

夏の暑い日が続くと、睡眠不足や、胃酸の分泌が低下するなどの理由で、食欲が衰えてしまいます。こうした時こそ、食事づくりにもちょっとした工夫をして食欲を増すようにしましょう。

夏野菜プラス香味野菜



ナス、キュウリ、トマト、インゲンなどの夏野菜にしょうが、みょうが、しそなどの香味野菜をきざんだものを少量加えてアクセントをつけます。

酸味を利用



焼き魚やてんぷらのつけ汁、スープ、お浸しなどにレモンの絞り汁をかけます。

カレー粉やガーリックを上手に使用



野菜炒めにカレー粉を加えて味を整えたり、炒め物、焼き物の下味にガーリックを加えます。

水分補給を見直しましょう

人間の体の約65～70%は水分です。体の中では毎日、食事などからとりいれる水分と汗などで体から出てゆく水分との割合を一定に保とうとしています。

このバランスがくずれると体温調節がきかなくなるなど、命に関わる事態が起きてしまうのです。

食事から

水分は汁物をはじめ、ごはんやおかずにも含まれているので、3度の食事からもかなりの量をとることができます。特に汗をかいた時は、みそ汁やスープ類などの汁物からミネラルを補給しましょう。



スポーツ時は

運動をして大量の汗をかいた時は、頻繁に水分を補給することが大切です。汗で失ったミネラルを補給するために、スポーツドリンクは適しています。ただ、糖分も含まれているので飲みすぎないように。



水分補給 どんなものを飲めばいいの？

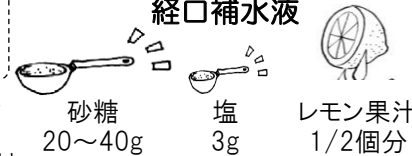
通常的水分補給は、水で十分です。

冷たい清涼飲料水は口当たりがよく、実際より甘さを感じにくくなります。たくさん飲むことで、むし歯や肥満の原因になってしまうので注意しましょう。

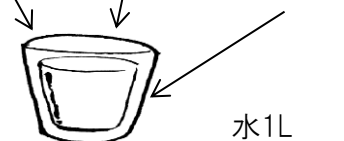
飲み物から水分をとる事ばかり考えず、3度の食事をきちんと食べて食事からもしっかり水分をとるなど、上手に水分補給をしましょう。

手作りで作ってみよう

経口補水液



砂糖 20～40g
塩 3g
レモン果汁 1/2個分



水1L
(一度沸騰させた湯冷ましが良いです)

透明になるまでよくかき混ぜる

こまめな水分補給で脱水を防ごう



わたしたちの体は暑さや運動などによって体温が上がると、汗をかいて体温が上がりすぎないように調整しています。汗をかくことによって失われた水分を補給しないままですと、脱水状態になってしまいます。脱水がすすむと、体温を調節する働きや運動機能が低下したり、熱中症になったりしてしまいます。脱水を防ぐために、こまめに水分を補給しましょう。

きゅうり・トマトなどの夏野菜でも水分補給ができますよ！

